

しま高ホームページ  
<http://www.shimanet.ed.jp/nima/>

邇摩高 E メール  
nima-01@shimanet.ed.jp

# 松風會報

発行所  
島根県立邇摩高等学校  
松風会

〒699-2301  
島根県大田市仁摩町仁万907  
TEL 0854-88-2220  
FAX 0854-88-4417



## 地域経済の動向について

松風会会長 原勝正

A black and white portrait of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera with a slight smile. The background is plain and light-colored.

はないが、凄い選手に間違いない。誰よりも先にグランドに入り、試合終了後も居残り練習。こういった話は野球に関心のない人の間でも知られている。そこには、試合で成功したいから、少しでも練習の中で多くの失敗をしておこうという、彼の計算があるのだろう。

野球部の人ならビンとくると思うが、バッティングの練習で、インサードのボールを打つことは結構難し

勉強も同じことだと思う。学校は失敗しても許される場所だ。教室や体育館、グランドに弓道場。音楽室や美術室もそうだ。みんな君たちに「力をつけて欲しい」と願っている場所だ。君ら自身も、失敗をしても構わない「修行の場」と、自らに言い聞かせ頑張れ。

二、食事。  
（好き嫌いなしの、やや米控え）  
三、朝食後の排便。  
（これには強いこだわりがある。排便を無視する人は便の大逆襲にあう）  
少し長くなりましたが、年頭にこのような話を後輩に致しました。どうか本年も宜しくお願ひ申し上げます。

校長訓話

い。何度も何度も手を外しながら打つ  
ていると、手が腫れてくる。自分の  
手が可愛いもんだから、反射的に腕  
を縮めたスイングでバットの芯を  
ボーリーに近づけようと必死になる。

良くなり、周囲の人たちまでもが叩きくなつてくる。

食品加工関係は、景気悪化による消費不振の影響が大で醤油製造業も厳しい状況です。地元、仁摩漁港水揚げの「一日漁」の魚を使つた新商品の開発販売の挑戦もあり軌道に乗りました。

島根県内の各漁協が合併統一され  
て「J.F.島根」となり経営改革が行  
われていますが、大田市の魚市場も  
仁摩と久手が和江地区に統合されま  
す。我々商工会としても注意深くこ  
の事に关心を持っています。各漁協  
からの魚移送の経費の問題、市場周  
辺の賑わいの減少、雇用等の問題点  
も多くあります。昔から仁摩は漁業  
が盛んで魚の加工場は林立していま  
した。漁船関連の修繕工事業者は鉄  
工所、船舶修理業、電装業が健在で  
あり、その技術力は島根県内でも高  
く評価されています。それは、我が  
商工会の「財産的存在」でもあります。

このままの状況では地域の過疎化は進みます。更にはＴＰＰ（環太平洋経済連携協定）の日本の参加は、農業をはじめ、その他の経済の根幹を揺るがし政府としてもきめ細かな対応が必要です。

松風会会員の皆さんも、邇摩高生徒諸君も、邇摩高校がこの地域の人々や商工会に携わっている商工業者の方々と一緒に育ててもらつて、いる事を認識して頂きたいと思います。地域の経済を活性させ、私達の子供や孫が明るく豊かに住める環境を、みんなと一緒に作って行きたいと思います。

ています。厳しい観光業の中、温泉津では六年前から京都造形大学の学生諸君と地元若者との合同の神楽公演が行われていますが、これの継続した拡大支援や、温泉街の電線の地中化についても強力に支援したいと

さて、日本は政権が交替して国内、国外においても経済や外交問題等が大きく揺らいでおります。JR仁木駅  
駅南の九号道路に「道の駅」の建設構想も中斷しております。山陰道を東から西につながつて行きません。





体育祭

# 写真で見る邇摩高生



好天に恵まれ完走を目指し男子 10km、女子 7km を完走しました。

ロードレース大会

昨年は新型インフルエンザで中止となりました。  
今年は 2 年分の思いを込めた楽しい文化祭となりました。

文化祭

卒業生を招いての講話。  
1 年生が受講しました。

職業人講話



見た目審査、味審査の総合点で競います。

ケーキコンテスト



農業クラブ役員改選に合わせて毎年行っています。

農業クラブ収穫祭



植物栽培技術の授業でサツマイモを植えました。

園児との交流



仁摩サンドミュージアムにある花時計を定期的にメンテナンスします。

花時計植替え



きれいな砂浜を保つため、邇摩高生全員で毎年取り組みます。

仁摩の浜清掃

**Marui**  
島根中央 島根中央マルヰ(株)



代表取締役社長 石本智章 (S37卒)

ガス営業部西部支店長 前原繁一 (S47卒)

本 社 大田町大田口 1181-11 ☎ 0854-82-0117  
西部支店 仁摩町仁万 532-1 ☎ 0854-88-2356

造園設計施工・庭園管理  
植木生産販売・庭園材料販売

# 金藤緑化園

代表 金藤繁行 (昭和46年卒)

〒694-0013 大田市川合町吉永 電話・Fax(0854)82-4119

松風会の会員の皆様には、平素から財団法人松風会の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

会員の皆様の年代も様々かと思いまが、かつては全校生徒による森林管理が行われていたのに対し、現在は総合学科ということもあり環境系列の二年生のみが森林の理解・管理の仕方等を学習するため、年一回演習林に出向いています。

平成二十年に公益法人制度改革が行われ、新たな制度が同年の十二月一日に施行されました。施行日から財団法人松風会は特例民法法人となり、移行期間（五年間）の間に、公益法人か一般法人のどちらかの許可を受けるか、又は財団を解散するかの選択をしなければなりません。

そこで公認会計士を招き制度自体の勉強会を行ったのち、理事・評議員会でどの道を選択すべきか審議しました。公益法人としての許可を受

(財) 島根県立邇摩高等学校松風会 新法法人化への移行(中間報告)



## 平成22年度山林実習の様子

会員の皆様方には方向性が決定いたしましたらご報告を行いますので、理解いただき、ご協力をお願ひいたします。

一般法人としての許可を得るために、事業内容等を見直すことが必要となりますので、平成二十二年度第二回理事・評議員会、平成二十三年度第一回理事・評議員会で審議を行い最終決定する予定となっています。

けるには、現状の法人運営を考えると非常に困難である。解散は先人の方々が学校教育活動のため山林を取得された経緯から、簡単にそこには導けない。などの意見が出され、最終的に一般法人化への移行がベターではないかとの結論に至りました。

仕掛けた

と、年齢の違い、目的の違いなどに様々な相違点がわかつた。せつかく来られたのにもつたひないなあ!!

そこで昨年、石見銀山來場者を仁摩サンドミュージアムへも周遊させようというテーマで、両観光資源をつなぐ案内マップの作製を行つた。完成したマップを大森町の複数の場所に配置、仁摩サンドミュージアムの協力を得て、案内マップを持つて実際に来場された方に「サンミ特製携帯ストラップを進呈!」と周遊を

「高校生が提案する『せつかだから仁摩サンドマップ』アム来場者を仁摩町内に周遊させよう」と。時を同じくして、昨年の課題研究発表会を視聴された仁摩地域まちづくり委員会の大谷さんからも、「何とか仁摩町を活性させたい」と要望を受け、高校生が提案する周遊マップを作ることとなつた。おじさん達が欲しいという要望のものと、今年のビジネス系列3年生11名がああだこうだ言いながら、原案作りを始めた。ところが3年間も仁摩町に通学している高校生が、仁摩町の観光スポットはココに目をつけた。近い距離にあると実に20倍もの観光客が訪れていくことになる。ビジネス系列の生徒は、平成21年データによると、世界遺産登録の石見銀山には年間80万人超が、一方、映画「砂時計」で脚光を浴びた世界一砂時計のある「仁摩サンドミュージアム」には年間12万人超が来場している。大田市の人口を考えると、そこには年間100万人超がいる計算になる。そこで、仁摩町の観光資源を最大限に活用するため、地図を用いた周遊マップを作成することとした。

## 仁摩町観光マップ



馬路、大国、仁万と廻遊し、自分で確認することからはじめた。市役所仁摩支所からも莫大な資料をお借りし、何度も現地調査に出向いた。一通りのイメージが出来、ブレー  
ンストーミング法で意見を出し合い、KJ法でまとめ、町づくりセンターの意見も聞きながら修正を何度も加え、  
高校生らしい若い感覚の仁摩町周遊マップが出来上がった。その名は「世界に一つだけの仁摩町マップ、二ママツヨ」  
た「ニママツヨ」がお勧めスポットを紹介するといった構成だ。

㈲ 有限会社 小川商店

石油・運送・スーパー・不動産・大衆酒場・  
フリースペース・ショッピング&カフェ

昭和40年度卒業生 小川 良知  
温泉津町 (有)小川商店 代表取締役

土地・建物・管理・仲介  
鳥根県知事免許(5)第805号

# 永野不動産

宅地建物取引主任者 代表 永野雅博

[検索](#)

## 検索

(昭和43年普通科率)

〒694-0031 大阪市鶴見区1038-1 ☎0854-84-7700

## 松 風



# —平成二十五年度— 邇摩高校創立百十周年

百十周年実行委員長  
松風会副会長  
大田市議会議員  
**松井 東司彦**  
(S39年普通科卒)

謹啓、平成二十三年度を迎える松風会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

邇摩高等学校は、平成十五年の秋に創立百周年を祝し、各方面から多大なご協力・ご支援を賜り、創立百年記念式典、第二グランド造成果業、記念野球招待試合(広島商業高校・明徳義塾高校)など多くの記念事業を行つて参りました。あれから早や八年が過ぎ、平成二十五年(二〇一三年)に、母校は創立百十周年を迎ることになります。



## 関西支部だより

● 藤 井 典 子 (湯里出身)

S 42 農業科卒 (62歳)

かりの国道九号線を何度も歩いて  
通った想い出があります。いつも大  
好きな歌を口ずさみながら。

松風会の幹事をお引き受けした時、

四十二年卒農業科同窓生に、独自に  
同窓会を開く旨を並行して進めてみ  
ました。結果は松風会には私ひとり。

反対に同窓会には、八人の笑顔と再  
会する事が出来ました。皆、喜んで  
もらえたと思っています(一番嬉し  
かったのは、何を隠そうこのわたし  
でした)。その波動は、田舎在住の方  
たちとの同窓会へと発展。又々、懐  
かしい顔ぶれと出会い、二重の喜び  
となつたのです。昨年六月の松風会  
に、その中の四人の男性陣の出席が  
あり、尽力して下さった優しい松原  
君、岩崎君、亀井君、有光君に最敬  
礼でした。太閣園のお料理とお力を  
頂いた役員の皆様に、心から感謝し  
ます。草の根の心のネットワーク作  
りこそが、故郷石見再盛へと繋ぐ!

♪日本海の荒磯に童巻起くる大歎  
声!! 小学生の時の初めての遠足が、  
『松山』の町営運動場でした。母が作つ  
てくれたおむすび弁当(中味と言え  
ば、たくあんか梅干しをめのはで巻  
いたもの)。昭和二十二・二十三年生  
まれは、戦後の産めよ、育てよの時代。  
私の実家もご多分にもれず七人兄弟  
(私はのん気なまん中)。教育者だつ  
た母と父との出会いを母方の叔母か  
ら伝え聞いた。貧しい親子関係は、  
周囲の方々には奇異に映つたに違  
ない。中学生になつたある日、母は、  
生きとし生きる者として差別はして  
はならない旨を切々と語ってくれた。  
父も又、理数に弱い私に「典子、數  
学というのはな 答えは幾通りもあ  
るんだと解き方を教えながら、開基  
と一緒に」。自信を失いかけていた私  
に、一つの灯をつけてくれた。この  
ような父母がとても好きでした。母  
の口癖といえば、「お父さんが今も警  
察官をやつていれば、今頃は警察署  
長さんかなあ。お前たちにこんな苦  
労をさせる事はなかつたのにねえ」。  
天井裏のない、屋根の隙間からは、  
朝起きれば布団の上は、うつすら雪  
化粧。夜は月照りが私たち親子を照  
す。それでも四季折々の行事は、決  
まって共に教え心をつないでくれた。  
大きな心の財産を両親から受け継ぐ  
事が出来ました。ありがとうございます。  
感謝しています。

邇摩高への三年間は、完通したば  
ば、たくあんか梅干しをめのはで巻  
いたもの)。昭和二十二・二十三年生  
まれは、戦後の産めよ、育てよの時代。  
私の実家もご多分にもれず七人兄弟  
(私はのん気なまん中)。教育者だつ  
た母と父との出会いを母方の叔母か  
ら伝え聞いた。貧しい親子関係は、  
周囲の方々には奇異に映つたに違  
ない。中学生になつたある日、母は、  
生きとし生きる者として差別はして  
はならない旨を切々と語ってくれた。  
父も又、理数に弱い私に「典子、數  
学というのはな 答えは幾通りもあ  
るんだと解き方を教えながら、開基  
と一緒に」。自信を失いかけていた私  
に、一つの灯をつけてくれた。この  
ような父母がとても好きでした。母  
の口癖といえば、「お父さんが今も警  
察官をやつていれば、今頃は警察署  
長さんかなあ。お前たちにこんな苦  
労をさせる事はなかつたのにねえ」。  
天井裏のない、屋根の隙間からは、  
朝起きれば布団の上は、うつすら雪  
化粧。夜は月照りが私たち親子を照  
す。それでも四季折々の行事は、決  
まって共に教え心をつないでくれた。  
大きな心の財産を両親から受け継ぐ  
事が出来ました。ありがとうございます。  
感謝しています。

## 肩の力を抜いて 頑張ります

● 田 辺 小百合

S 43年普通科卒 (61歳)

人です。馬路には十八年しか住んで  
いませんが、五月の運動会には毎年帰  
省して参加します。琴ヶ浜町民大運  
動会です。部落ごとに得点を競うの  
で、お年寄りの多い地区は不利、な  
ので都会へ出ている子供や孫が帰省  
して助つ人です。私は運動が苦手な  
ので、もっぱら玉入れとか風船割り  
に参加します。これが中々難しいん  
ですよ。何しろ砂浜ですからね。

そして八月は皆様ご存じの盆踊り。  
子供のころは波打ち際までの大きな  
輪になり下駄を両手に挟んでたたき  
ながら踊り、疲れたら浜に横になつ  
て休んだりして、夜明けまで踊つた  
ものです。昔を懐かしむのは年寄つ  
た証拠だと笑われますが、何年大阪  
に居ようとも故郷のことは忘れよう  
がありません。そして、同じ故郷の  
空気を吸いに万葉台の稻田を懐かし  
む気持ちは、皆同じではないでしょ  
うか。松風会関西支部の中に馬路出  
身者が何人おられるのか生憎全員の  
方のことを知らないのですが、今年  
六月の総会にはたくさんの方々  
とお会いしたいと思っています。六  
月には市人会・県人会・松風会とあり、  
お忙しいでしょうが、万障繕り合わ  
せて是非出席してください。他町の方  
々も誘いあわせてたくさんの方々  
の笑顔で溢れる集いにして行きたい  
と思っています。



そもそも私は長年不動産会社に勤  
務しており、日曜・祭日は休めない  
ので、松風会総会には中々出席でき  
ませんでした。同級生のお兄様で元  
関西支部長、故中田氏とはいつも「定  
年して時間ができたらお手伝いしま  
すよ」と約束していたのですが、一  
緒に活動できなくなつた事は悲しい  
です。引き受けたからには頑張つて  
やるつもりですので皆様助けてくだ  
さいね。総会の後、学年の同窓会を  
されたら盛り上がりりますし、会費も  
浮きますのでお勧めです。懐かしい  
友人、先輩方と旧交を温めましょう。

さて、就職の為に大阪へ出てきて  
四十年以上過ぎました。早いもので  
す。大阪弁で喋っているつもりです  
が、インテネーションがやはり違う  
ので「出身は関東ですか?」とよく  
聞かれます。私が「いいえ台湾人な  
んです」と答えると疑わざに納得さ  
れる人もいるんですよ(笑) 何で?  
故郷を離れてても私は島根県人、馬路



## 徳林院

住職 佐々木 隆晶  
(昭和42年普通科卒業)

〒560-0085 豊中市上新田2-4-14  
TEL 06-6831-9329

NICE 自然を科学する  
ノアビア化粧品

西鈴蘭代理店  
小 泉 香代子  
(S37普通)

神戸市北区北五葉5の21  
078-592-1390

ピューティプランナー  
河 合 弘子  
(S37普通)

和泉市若松町571  
0725-54-0618

# 松風会総会・懇親会開催される



総会の様子

二月六日(日)、仁摩サンドミュージアムに於いて「平成23年度松風会総会・懇親会」が開催された。今年は昭和六十一  
年三月卒業生が主幹事となり、昨年同様盛大にとりおこなわれた。悠久の時を刻む世界一の砂時計の真下での開催は今年で二年目となり、多数の同窓生が集つた。

夕方五時から行われた総会は、地下一階の映像ホールで開会され、原勝正松風会会長、大島淳校長の挨拶に続き、来賓の藤山勉県議会議員様、竹脇創一大田市長様から御祝辞を頂いた。原会長が議長を務め、事務局から提案された議案は全て承認された。ティーが出来る設計では無いため、机・椅子・テーブルクロス・料理・飲み物・コップに至るまで外部から持ち込むのだが、担

懇親会の様子



は開宴した。

六時からは二階のタイムホールに場所を移し、懇親会が華やかに開かれた。田中増次江津市長様に御祝辞を頂いた後、林皓平前関東支部長様の声高らかな乾杯で開宴。あつという間にホール内の熱気は最高潮に向かった。仁摩サンドミュージアムはパー

当幹事団のテキパキとした動きにより実にスムーズに設営が行われていた。また、仁摩町での開催ということもあり、料理・飲み物は邇摩高出身で地元の卒業生が経営する業者に依頼し、アトラクションも地元で活躍している「一芸会(安来節・女踊り・男踊り・どじょうすくい)」に出演を依頼。宮本春樹さんの実に楽しい司会演出は、懇親会をより一層盛り上げ出席者全員を大いに楽しませてくれた。

懇親会の中盤には坂本直之幹事長の挨拶があり、難波利三氏と故沖野利裕校長から贈られたそれぞれの色紙のエピソードが紹介された。次年度幹事も来場され、来年度懇親会への引き継ぎも無事為された。

宴だけなわの七時五十分、砂時計のあるタイムホールに校歌が響き渡った後、奥野事務局長・今年度幹事団によるエールを日本大出身の大島淳校長が打ち鳴らす応援団太鼓が見事に引き締めると会場内から「フレ・フレ・邇摩高」「フレ・フレ・松風会」と大歓声があがつた。ラストは坂本照良松風会副会長の万歳三唱で締めくくられ懇親会は閉宴した。

## 平成22年度松風会決算報告

### ◆一般会計

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

科 目	本年度予算額	決算額	差引額	備 考
入会金	297,000	297,000	0	@ ¥3,000×99名分
会費	19,800	19,800	0	@ ¥200×99名分
寄付金	5,000	35,805	30,805	総会開催時の寄付
繰越金	41,730	41,730	0	平成21年度から繰越
他会計繰入金	150,000	150,000	0	年会費会計より
雑収入	470	110,045	109,575	貯金利息￥45、パーティー券売り上げ益金￥50,000、会報広告収入￥60,000
計	514,000	654,380	140,380	

### 支出の部

科 目	本年度予算額	決算額	差引額	備 考
会議費	5,000	4,672	△328	役員会会議費
財団法人松風会補助	50,000	50,000	0	(財)松風会会計へ
旅費	220,000	226,240	6,240	県外支部総会出席(関東・関西総会出席各2名分)
支部育成費	110,000	110,000	0	関東・関西・県内(松江・大田・仁摩・温泉津・江津)
事務費	50,000	67,001	17,001	卒業記念品・新聞広告料・通信費等
会館管理補助費	70,000	70,000	0	会館運営費補助会計へ
予備費	9,000	0	△9,000	
計	514,000	527,913	13,913	

収入総額￥654,380－支出総額￥527,913＝￥126,467 (平成23年度会計へ繰越し)

平成23年1月11日

内田様

## 平成22年度 松風会年会費会計決算報告

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

### I. 収入の部

科 目	決 算 額	備 考
会 費	1,018,000	年会費2,000円×502件、納入率70.2%
繰 越 金	1,256,170	平成21年度会費繰越
計	2,274,170	

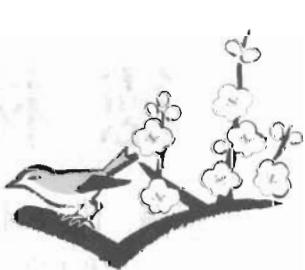
### II. 支出の部

科 目	決 算 額	備 考
会報発行費	364,839	会報松風41号、1,000部
振込手数料	56,280	貯金局会費振込手数料
他会計繰出金	150,000	松風会一般会計へ
計	571,119	

収入合計￥2,274,170－支出合計￥571,119=残高￥1,703,051

平成23年1月11日  
松風会監査

内田様



### 事務局からの連絡

会報松風は、邇摩高校ホームページでもご覧いただけます。  
年会費の納入に御協力ください。

<http://www.shimanet.ed.jp/nima/>